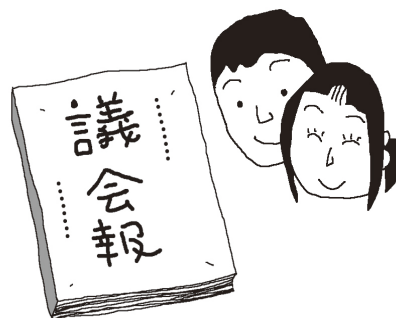


豊かな文化をつくろう

小さな学びの場とWEB(スマートフォンなど)で

■ 2年前嵐山町町制50周年を記念した議会報をつくりました。

嵐山町には、人々の豊かな教養の歴史があります。量の成長を求める時代から、質の豊かさを求める時代に変化しています。



■ 小さな学びの場・出会いの場

遠距離通学・通勤電車のなか、スマホを利用して嵐山町の文化を学べる・意見交換できるシステムを作りましょう。

■ かつて、町民大学や、報道を町民の人が手作りでつくっていました。

武蔵嵐山駅が空襲にあったこと、日本で初めての孤児院があったこと。嵐山町の平和事業で、嵐山町の第2次世界大戦の講座はよかったです。嵐山町博物誌がWEB上にあるように、嵐山町についての講座をいつでも視聴できる「嵐山町を学ぶ」WEBがほしいです。



■ スマホを使った手軽な学びの場と情報交換で嵐山町の新しいまちづくりがはじまります。

議会で「若者会議の設置」を町に働きかけることができました。

嵐山町のまちづくりに若い人の考えを生かしていく……SNSを利用していく。「金を稼ぐ力」に若い人の知恵とセンスとスキルを活かしていく。

- 若い人が学校帰り、仕事帰りに集まれる場が駅周辺にほしい。若い人が町づくりの企画ができる機会がほしい。
- 嵐山町のまちづくりにいろいろな世代や若い世代のセンスを生かせる場を作りましょう。
- 多様な人の嵐山町まちづくり参加が進みます。



人口減少でも、消滅しない嵐山町にするためにも、こども、若い人と多様な人のつながりで町そだてをしていきましょう。

